

宮古島市農業委員会の【農地利用最適化推進委員】候補者応募書

申込日 平成29年6月15日

宮古島市長 下地 敏彦 様

私は、宮古島市農業委員会の農地利用最適化推進委員候補者として、次のとおり応募します。

希望する活動区（活動区一覧から選択し記載してください）		
第1希望活動区（※必須記載）	第2希望活動区	第3希望活動区
平良1区	平良2区	平良3区

※フリガナも記入してください 氏名	性別	生年月日（満年齢）
ミヤコジマ ハナコ 宮古島 花子 印	女	昭和・平成 50年 6月 15日（42才）
住所（住民票登録地）		職業（職種）
宮古島市平良字西里XXX番地		農業
本籍		/
同上		

【連絡先】

■ 自宅固定電話：7X-XXXX

■ 携帯電話（必須）：090-XXXX-XXXX

【経歴（職名・役職名など含む）】

平成XX年X月X日 ~ 平成XX年X月X日 株式会社〇〇入社、事務員・営業職など

平成XX年X月X日 ~ 退職し、就農開始

平成XX年X月X日 ~ 平成XX年X月X日 JA〇〇女性部会長を務める

平成2X年X月X日 沖縄県野菜品評会にて金賞受賞

地域の役員やボランティア活動の経験などあれば、それらも記載してください。

【農業経営の状況】

◎ 耕作農地面積（単位は選択）：5,000 m² a（アール） ※ 該当する単位を○で囲んでください。

◎ 経営作目：ゴーヤー、たまねぎ

◎ 年間農業従事日数：270 日

◎ ご自身の農業経営状況についての説明（下段に記載）

今年で営農開始して〇〇年目になります。現在は25mmパイプハウス4棟（10a）でのゴーヤー栽培と、トンネルハウスでのたまねぎ栽培で営農しています。主品目であるゴーヤーの平均反収は現在8トンで、10トン反収を目標に日々工夫を重ねています。

氏 名 : 宮古島 花子

【応募の理由】

地域の一員として農業経営をしていく中で、地域の農家が高齢化して農業経営が困難になり、遊休化していく農地を目の当たりにしてきました。農業は宮古島の重要な基幹産業なので、高齢化により衰退しないように守っていかなければならないと強く感じ、応募に至りました。

【抱負など（自己PR、委員として取り組みたい事項等）】

新規で農業を始めたいという相談をよく受けますが、農地の確保が難しいために断念してしまう人が多いです。高齢のため農業をリタイアする人や、島外在住で農地を相続した人などを上手く就農希望者と結びつけて、宮古島の農業が発展していくよう活動したいです。

農業委員・農地利用最適化推進員のどちらにも推薦・応募ができますが、兼務はできません。

農業委員への応募状況（どちらかに○）⇒ 応募している ・ 応募していない

農業委員会事務局が発行する「農業従事証明書」の添付の有無 ⇒ 添付している ・ 添付していない

※3枚目の「農地利用最適化推進員の活動区一覧」は提出の必要はありません。